



金融機関のための

# 農業ビジネスの 基本と取引の ポイント 第2版

有限責任監査法人トーマツ 著

●A5判・192頁 ●定価：本体1,600円+税

## 農業融資のポイントとなる事業性評価やABL、注目の集まる農協改革やGAPなど、新たなトピックを追加し、改訂「第2版」発刊!

農業は政府の成長戦略のなかに位置づけられ、農地法改正や農協改革をはじめ、強い農業構造を作るための取組みが進められています。金融機関にとっても、地域資源の活用に関わり、食品加工業や観光業などとも結びつく可能性のある農業の振興に取り組むことは、取引拡大や地域経済の底上げの観点から重要となっています。

本書は、金融機関の渉外担当者が、農業ビジネス業界との取引に際して知っておきたい、日本の農業の現状、法制度、会計・税務および農産物の流通等の関連知識に加え、取引深耕のポイントまでを解説する書籍です。これを読めば、「どのように農業ビジネスの取引を推進すべきか」、その勘所をつかめます!

### 本書の 特徴

- 読みやすい1テーマごとの構成。豊富なデータ・図解でコンパクトに解説!
- 取引深耕に役立つ知識・情報を、厳選してピックアップ!
- 公表データをもとにした、客観的かつ公平な視点!

### 【本書の内容】

#### 第1章 農業ビジネス業界の現状

農業の国内産出額/農業所得/企業の農業参入/植物工場/ICTを活用したスマート農業/トレーサビリティ/GAP(Good Agricultural Practice)/有機農業/農林水産物・食品の輸出促進対策の概要/グローバル・フードバリューチェーン/商品先物取引

#### 第2章 農業の基礎知識

農地法/耕作放棄地/農地中間管理機構/農業委員会/認定農業者/農業共済(農業災害補償)/貿易自由化交渉/環太平洋経済連携協定(TPP)/農産物の関税

#### 第3章 農産物の生産および流通

農業生産(米)/農業生産(野菜)/農業生産(果樹)/農業生産(肉用牛)/農業生産(養豚)/農業生産(乳用牛)/農産物の流通構造(米)/農産物の流通構造(青果物)/農産物の流通構造(食肉)/農産物の流通構造(牛乳乳製品)

#### 第4章 農業ビジネスに関わる主体

農業生産者/JAグループ(組織)/JAグループ(農協改革)/JAグループ(事業内容)/種苗メーカー/農業機械メーカー/資材メーカー/卸売業者/小売業者

#### 第5章 農業ビジネスの会計と税務

農業会計/貸借対照表/棚卸資産/生物・育成仮勘定/損益計算書/収益認識/製造原価報告書/キャッシュ・フロー計算書/農業税制/管理会計/(参考資料)農業法人標準勘定科目

#### 第6章 農業融資

農業融資の市場動向/農業経営と農業融資の特徴/農業制度資金/農業信用基金協会/ABLの活用/ABLのモニタリング/事業性評価融資への取組み/農業経営のコンサルティング/農業の6次産業化/地域ブランド/農林漁業成長産業化ファンド/ビジネスマッチング/金融機関の農業融資の取組み



経済法令研究会

<http://www.khk.co.jp/>

●経済法令オフィシャルブログ

〒162-8421 東京都新宿区市谷本村町3-21 TEL.03(3267)4810 FAX.03(3267)4998

<http://khk-blog.jp/>

# 農業ビジネスの基本と取引のポイント [第2版] サンプルページで紹介

## 農業生産 (米)

▶ 大規模経営体が出てきている

食生活の多様化による米の消費量が減少したことを背景に、米の生産量は1994年以降、減少傾向となっています。また、生産構造の特徴として、稲作農家の半数以上が経営規模の小さい専業農家や副業的農家によって占められていますが、大規模経営体も増加しています。

米の生産量は、ピークである1967年の1,445万トンから4割減少して、2015年には843万トン（概算値）となっています（図表3-1）。これは、食生活の多様化により米の消費量が減少し、それに伴い米の生産量も減少したためです。また、米の産出額についても、ピークである1984年の3兆8,900億円から約6割減少し、2015年には1兆4,994億円となっています。これは、生産量の減少と価格の下落によるものです。

米の生産構造

稲作農家94万戸のうち、専業農家は全体の18%であり、農業を主としていない専業農家および副業的農家が合わせて8割以上を占めています（図表3-2）。これは、稲作の機械化の進展により作業時間が削減され、他の仕事に専事しながらも米の生産を続けることができる専業農家および副業的農家の1戸あたり作付面積はそれぞれ1.13haと0.81haであり、専業農家の1戸あたり作付面積は2.65haです。稲作は規模拡大による生産量の増加効果が高いことから、100haを超える稲作面積の経営体が増加傾向<sup>1)</sup>にあります。

米の直接支払交付金の廃止

米の年間1人あたり消費量は、1960年代ピークに減少しておお米の過剰生産を抑制するため、行政による生産数量目標を設定する生産者に対して直接支払交付金を支払ってきました。2018年度直接支払交付金が廃止され、農家が需要に応じた生産を行うこととなります。

水田活用の直接支払交付金制度の充実

食用水の過剰生産を抑制しつつ、水田をフル活用するため、水田に合わせた稲作（肥料削減、水、大田など）の生産を奨励しています。こうした稲作体制の生産拡大を促進するため、水田活用法交付金制度の充実が図られています。

**Point** 米の生産については政府の影響を受けやすいため、動向に注視する必要があります。

## 事業性評価融資への取組み

▶ 各金融機関の金融仲介機能の取組みを開示

適切な保証や担保に依存せず、農業者の経営能力や将来性を重視して支援する取組みがより一層進められています。事業性評価を通じて、地域経済の活性化につながるべく、市民とともにその取組みの進捗状況を整理しています。

金融仲介機能のベンチマークとは

金融庁は2016年9月に「金融仲介機能のベンチマーク」を策定・公表しました。「金融仲介機能」は、自身の経営や事業戦略にも関係している金融仲介の質を高めることには、自身の取組みの進捗状況や課題等について客観的に自己評価することが重要であるとの考えのもと、金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる多様な指標を公表しています。

共通ベンチマークと選択ベンチマーク

金融仲介機能のベンチマークとして、すべての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」を提示しています。

共通ベンチマークは取引先企業の経営改善や成長力強化などの5つの指標が示されており、選択ベンチマークは「地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション」等事業性評価に基づく融資、担保・保証に過度に依存しない融資等14項目・50個のベンチマークが提示されています。

ベンチマークの自主的開示について

これらのベンチマークは自主的開示が求められています。そのため、各金融機関

**Point** 各金融機関の実績に応じて、指標を選択し金融仲介機能の取組みの進捗を客観的に上げていくことが重要である。

## 農林水産物・食品の輸出促進対策の概要

▶ 2019年までに農林水産物・食品の輸出額1兆円が目標

日本の農産物市場は少子高齢化により縮小傾向にある一方で、海外では新興国における都市圏・中産層人口の増加などにより、市場規模が拡大しています。アジアを中心に日本農産物の需要が旺盛で、また、アジアがユース・コネクト文脈で急速に成長している新興市場として有望な市場の一つとして、日本農産物・食品の輸出拡大を奨励しています。

日本産農林水産物・食品の海外への輸出額の推移

日本産農林水産物の食品の輸出額は、2012年まで同水準で日本産農産物の影響で伸びてきましたが、2013年の輸出額は、過去最高の4,816億円となりました（図表4-1）。その後は、農産物と加工食品を合わせて7割以上を占める米、野菜、畜産品などの合計は2割程度です。輸出先は、アジアが7割を占めています。

日本産農林水産物・食品の輸出拡大に向けて

日本産農林水産物・食品の輸出拡大に向けて、海外のマーケットシェアを広げるためには、官商協働だけでなく、中堅にもターゲットを広げることが必要と

各金融機関の取組みを開示

金融仲介機能のベンチマークとして、すべての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」を提示しています。

共通ベンチマークは取引先企業の経営改善や成長力強化などの5つの指標が示されており、選択ベンチマークは「地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション」等事業性評価に基づく融資、担保・保証に過度に依存しない融資等14項目・50個のベンチマークが提示されています。

ベンチマークの自主的開示について

これらのベンチマークは自主的開示が求められています。そのため、各金融機関

**Point** 各金融機関の実績に応じて、指標を選択し金融仲介機能の取組みの進捗を客観的に上げていくことが重要である。

# 業界のしくみがわかる「基本と取引のポイント」シリーズ

金融機関のための

### 医療業界の基本と取引のポイント [第2版]

東日本税理士法人 長 英一郎 著

■定価：本体1,600円+税

金融機関のための

### 介護業界の基本と取引のポイント [第2版]

KPMGヘルスケアアジア株式会社 著

■定価：本体1,600円+税

金融機関のための

### 建設業界の基本と取引のポイント

新日本有限責任監査法人 著

■定価：本体1,600円+税

金融機関のための

### 観光業界の基本と取引のポイント

有限責任監査法人トーマツ 著

■定価：本体1,600円+税

金融機関のための

### 医療業界の基本と取引のポイント [第2版]

東日本税理士法人 長 英一郎 著

■定価：本体1,600円+税

金融機関のための

### 介護業界の基本と取引のポイント [第2版]

KPMGヘルスケアアジア株式会社 著

■定価：本体1,600円+税

金融機関のための

### 建設業界の基本と取引のポイント

新日本有限責任監査法人 著

■定価：本体1,600円+税

金融機関のための

### 観光業界の基本と取引のポイント

有限責任監査法人トーマツ 著

■定価：本体1,600円+税

経済法令研究会 営業推進部 行 (FAX 03-3267-4998) 年 月 日

<b>お申込書</b>	[3354] <b>金融機関のための 農業ビジネスの基本と取引のポイント [第2版]</b> 定価：本体 1,600円+税 <input type="text"/> 冊	(ふりがな) <b>お申込者名</b>	電話 <input type="text"/>	年 月 日
	(その他)ご希望の書籍名をご記入下さい 書籍名： <input style="width: 80%;" type="text"/> 定価：本体 <input type="text"/> 円+税 <input type="text"/> 冊	勤務先名 (金融機関コード) <input style="width: 80%;" type="text"/>	Fax <input type="text"/>	所属名 (所属コード) <input style="width: 80%;" type="text"/>
	送付先住所 <input style="width: 80%;" type="text"/>	〒 <input style="width: 80%;" type="text"/>	(勤務先・ご自宅)	

※別途、配送料がかかります。 1704-2520-DTP (3354)